

関西学院大学
イノベーション研究センター主催 産業研究所共催 講演会
関西学院大学経営戦略研究科（ビジネススクール）

玉田俊平太教授
「破壊的新規事業の起こし方」

2018年5月1日(火)・5月8日(火)

13:30~15:00

於 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスB号館B-201 教室

多くの企業が目指す“イノベーション”ですが、その意味をメンバーに尋ねると、十人十色の答えが返ってきて驚かされます。組織が目標として掲げている言葉の意味が、メンバーの間で統一的に理解されずにぶれているようでは、およそイノベーションの成功などおぼつかないでしょう。

また、業界トップクラスの優良企業であっても、ある種類のイノベーションには打ち負かされ滅んでしまうことがあります。このようなタイプのイノベーションは「破壊的イノベーション」と呼ばれ、近年、注目を集めています。

本講演では、多くのビジネスパーソンが聞いたことはあるが完全には理解できていない「破壊的イノベーションを起こす方法」について、2回に分け、順を追ってわかりやすく解説し、破壊的新規事業を起こすために求められるビジネススキルの修得を目指します。ご興味ある皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

5月1日(火)

- ①イノベーションとは何か、
- ②破壊的イノベーションとは何か、
- ③なぜ歴史ある大企業でも破壊的イノベーションには対応出来ないのか、

5月8日(火)

- ④破壊的新規事業を興すための戦略、
- ⑤破壊的アイデアを産み出すための着眼点と方法、
- ⑥破壊的イノベーションを起こすために求められる組織、

講師略歴

博士（学術）（東京大学）。ハーバード大学大学院にてマイケル・ポーター教授のゼミに所属するとともに、クレイトン・クリステンセン教授から破壊的イノベーション理論の指導を受ける。

筑波大学専任講師、経済産業研究所フェローを経て現職。その間、東京大学先端科学技術研究センター客員研究員、東京大学先端経済工学研究センター客員研究員、文部科学省科学技術政策研究所客員研究官を兼ねる。研究・イノベーション学会評議員。日本経済学会会員。日本知財学会会員。

平成23年度TEPIA知的財産学術奨励賞会長大賞受賞。著書に『日本のイノベーションのジレンマ 破壊的イノベーターになるための7つのステップ』（翔泳社、2015年）、監訳に『イノベーションへの解』（翔泳社、2003年）、『イノベーションのジレンマ』（翔泳社、2000年）など多数。